

施策 1 2 1

すみだの魅力を広く発信し、訪れたい
まちをつくる

令和7年度 施策評価シート

基本目標	I 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政 策	120 すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際文化観光都市をつくる
施 策	121 すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる
施策の目標	多様な主体からすみだの魅力が広がり、これまで以上に国内外から多くの人々が「国際文化観光都市すみだ」に繰り返し訪れています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	区内観光客リピーター率				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	29%	—	—
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	30%
実績	74.3%	83.3%	92.3%	81.1%	

指標名	墨田区を人に勧めたい割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	—
実績	52.8%	—	56.1%	—	58.8%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	65%
実績	—	70.4%	—	69.3%	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
墨田区の魅力の効果的な発信や、多様な主体との連携により、国内外からより多くの方の訪問を促し、かつ再来訪が期待できる仕組みづくりが必要である。	R4	63,400
	R5	126,650
	R6	159,875

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	インバウンドをはじめ観光客が増加してるなか、再来訪を促進するための施策を展開していく必要がある。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
☐	(1) 優先的に資源投入を図る
☐	(2) 現状維持とする
☒	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
☐	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
観光需要の変化に合わせて見直しを図り、より効果的な施策を実施していく必要があるため。	
今後の具体的な方針	
墨田区の様々な魅力を伝えるための支援や情報発信、広域連携による誘客などを引続き実施し、国内外から多くの人々の再来訪を促進していく。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	隅田川花火大会経費	文化芸術振興課	61,471	28,434	89,905	現状維持
2	向島花街の新生事業	観光課	4,000	2,746	6,746	現状維持
3	観光情報発信事業	観光課	22,361	9,154	31,515	改善・見直しのうえ継続
4	外国人観光客受入整備事業	観光課	9,461	5,492	14,953	改善・見直しのうえ継続
5	広域連携事業費	観光課	2,092	7,323	9,415	改善・見直しのうえ継続
6	M I C E 推進事業費	観光課	4,594	2,746	7,340	改善・見直しのうえ継続

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	121 すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる					
事 業 名	隅田川花火大会経費					
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）	5 4 5 2			
目 的	両国川開き花火大会を継承する行事として広く親しまれている大会を開催し、都区民に潤いと憩いの場を提供する。					
対 象 者	都区民のほか国内外の来訪者					
根拠法令 関連計画	隅田川花火大会実行委員会会則					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤職員4人（当番時）、3人（非当番時）	
事業内容	“昭和53年に隅田川花火大会として復活した伝統の花火大会である。例年、東京都、墨田区、台東区、中央区、江東区、荒川区の五区で構成する連絡協議会と、各区町会長、関係事業者、行政職員で構成する実行委員会において、実施日や実施体制等を確認、決定しながら開催している。 なお、町会関係者やボーイスカウト、都区職員による自主警備委員のほか、警視庁や東京消防庁など約10,000人の協力を得て、自主警備体制を整え、安全に万全を期している。”					
経 過	開始年度	昭和53年度			終了予定	
	昭和53年から開催し、以来、令和元年度まで42回実施している。令和2年度から令和4年度については、国が定める感染症の安全対策を取ることが困難であったため中止とした。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	2024年の開催予定日7月27日（土） ※4月9日（火）に開催された実行委員会で開催を決定。 2025年7月26日（土）に開催予定 ※4月8日（火）に開催された実行委員会で開催を決定。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		31,885	1,081	400	53,453	64,246	68,756
A. 決算額（令和7年度は見込み）		31,874	1,081	400	47,812	61,471	68,756
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		31,874	1,081	400	47,812	61,471	68,756
執行率（％）		99.97％	100％	100％	89.45％	95.68％	100％
B. 人コスト		27,257	18,428	25,383	17,955	28,434	
総事業費（A+B）		59,131	19,509	25,783	65,767	89,905	
予算書P（令和7年度）		P119 2-2		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	46,455	負担金補助及び交付金	59,667	負担金補助及び交付金	65,685
委託料	1,330	委託料	1,780	委託料	1,982
旅費	27	旅費	24	使用料及び賃借料	1,040
				旅費	40
				報償費	9
概 要		概 要		概 要	
補助金、ボランティア記念品代、従事者分旅費、会場整理委託		補助金、ボランティア記念品代、従事者分旅費、会場整理委託		補助金、ボランティア記念品代、従事者分旅費、会場整理委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	年１回の開催				単位	回数
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		1	令和７年度	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	-	-	-	1	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		両国川開き花火大会を継承する行事として広く親しまれている大会を継続して開催することが必要なため。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		950,000	令和７年度	目標	950,000	950,000	950,000	950,000
				実績	957,000	748,000	874,000	959,000
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000
		実績	-	-	-	1,030,000	910,000	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		観客者数が地域経済活性化及び当区のシティプロモーションの指標となるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	日本有数の花火大会として成長し、都区民をはじめとする多くの方々に愛される事業として定着している。また、令和5年には100万人を超える観覧客が訪れたことから、当区のシティプロモーションのためには欠かせない事業であり今後も開催に向けて準備を行う。

課題・問題点
年々、警備や交通整理対策が困難度を増し、それに伴い必要経費が増大している。そのため、実施過程やコスト改善の工夫に継続して取り組んでいく必要がある。 この大会は毎年100万人近い観客を集める大規模イベントであることから、経済波及効果の面で、中止となった場合の影響が非常に大きいので、今後開催に向け国が求める安全基準を順守して、実施に向けた準備を進めていく。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	隅田川花火大会実行委員会補助金		
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）	5 4 5 2
根拠法令	隅田川花火大会実行委員会会則		
補助概要	隅田川花火大会実行委員会の運営経費について補助		
目 的	両国川開き花火大会を継承する行事として広く親しまれている大会を開催し、都区民に潤いと憩いの場を提供する。		
対 象	隅田川花火大会実行委員会		
基 準	区独自基準		
補助条件	隅田川花火大会実行委員会会則 第9条（経費） 実行委員会の経費は、分担金、寄付金及びその他の収入をもって充当する。		
経 過	開始年度	昭和53年度	終了予定
	昭和53年から開催し、以来、令和元年度まで42回実施している。令和2年度から令和4年度については、国が定める感染症の安全対策を取ることが困難であったため中止とした。 令和5年度から再開し、令和6年度大会では100万人を超える観客者数を記録した。 令和7年度大会については、7月26日（土）に開催予定。		
議会質問の状況			
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 2024年の開催予定日7月27日（土） ※4月9日（火）に開催された実行委員会で開催を決定。 2025年7月26日（土）に開催予定 ※4月8日（火）に開催された実行委員会で開催を決定。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		31,885	1,081	400	53,453	64,246	68,756
A. 決算額（令和7年度は見込み）		31,874	1,081	400	47,812	61,471	68,756
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		31,874	1,081	400	47,812	61,471	68,756
執行率（％）		99.97％	100％	100％	89.45％	95.68％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年 1 回の開催				単 位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1		目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	-	-	-	1	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		両国川開き花火大会を継承する行事として広く親しまれている大会を継続して開催することが必要なため。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	来場者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		950,000	令和 7 年度	目標	950,000	950,000	950,000	950,000
				実績	957,000	748,000	874,000	959,000
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000
		実績	-	-	-	1,030,000	910,000	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		観客者数が地域経済活性化及び当区のシティプロモーションの指標となるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	日本有数の花火大会として成長し、都区民をはじめとする多くの方々に愛される事業として定着している。また、令和5年には100万人を超える観覧客が訪れたことから、当区のシティプロモーションのためには欠かせない事業であり今後も開催に向けて準備を行う。

課題・問題点
年々、警備や交通整理対策が困難度を増し、それに伴い必要経費が増大している。そのため、実施過程やコスト改善の工夫に継続して取り組んでいく必要がある。 この大会は毎年100万人近い観客を集める大規模イベントであることから、経済波及効果の面で、中止となった場合の影響が非常に大きいので、今後開催に向け国が求める安全基準を順守して、実施に向けた準備を進めていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	121 すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる					
事 業 名	向島花街の新生事業					
主管課	観光課	電話番号（内線）	5494			
目 的	向島花街を中心とした地域産業の活性化により、地域の持続的な発展と活性化を図るとともに、向島花街の伝統文化を守り、後世に継承していく。					
対 象 者	向嶋墨堤組合、墨田区観光協会					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人	
事業内容	向嶋墨堤組合又は墨田区観光協会が行う、持続的な向島花街の活性化を図る事業への支援を行う。					
経 過	開始年度	令和2年度			終了予定	
	令和2年12月	向島花街の観光振興における連携に関する基本協定を締結				
	令和2年度	協定に基づく協議・意見交換				
	令和3年度	向島花街紹介冊子の作成・向島花街らしさを演出する提灯の設置・向嶋墨堤組合が行った稽古代補助に対する支援				
	令和4年度	画狂人北斎記者会見の実施・料亭体験会の実施・提灯ライトアップの実施に対する支援				
	令和5年度	向島花街紹介冊子の多言語化・向島花街PR動画の作成に対する支援				
	令和6年度	向嶋墨堤組合Webサイトリニューアルに対する支援				
議会質問 の 状 況	令和5年11月 決算特別委員会 向島花街文化の後世への継承について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		5,000	11,500	100,000	5,000	4,000	4,000
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,850	6,787	8,375	4,976	4,000	4,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,850	6,787	8,375	4,976	4,000	4,000
執行率（％）		97％	59.02％	8.38％	99.52％	100％	100％
B. 人コスト		3,529	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		8,379	9,426	10,829	7,530	6,746	
予算書P（令和7年度）		P200 2(7)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	4,976	負担金補助及び交付金	4,000	負担金補助及び交付金	4,000
概 要		概 要		概 要	
・負担金補助及び交付金 観光資源整備事業補助金 4,976		・負担金補助及び交付金 観光資源整備事業補助金 4,000		・負担金補助及び交付金 観光資源整備事業補助金 4,000	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	持続的な向島花街の活性化を図る事業数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		5	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	3	5	5	5	5
		実績	2	3	3	2	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		向島花街の伝統文化の継承・認知度向上を図る事業を実施する必要があるため。						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	向島墨堤組合が行う自主事業数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		4	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	3	4	4	4
		実績	0	2	3	5	4	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		向島墨堤組合の自主事業が増えることが、花街全体の賑わいにつながるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	向島花街の伝統文化を継承するため、継続的に支援を行っていく。 向島墨堤組合及び墨田区観光協会と結んだ協定に基づき連携を強化して、持続的な向島花街の活性化に向けて取り組んでいく。

課題・問題点
向島花街としての雰囲気失われてきている中、芸者数の維持、後継者の育成、利用者の増加には、花街のPRが必要であり、多くの人たちの目にふれることで、花街の活性化につなげていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	121 すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる					
事 業 名	観光情報発信事業					
主管課	観光課				電話番号（内線）	5483
目 的	区内の観光資源・観光素材の情報を効果的に発信・PRすることで、区の観光振興を図る。					
対 象 者	観光客					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1人 委託先	一般社団法人墨田区観光協会 等
事業内容	1 フィルムコミッションの運営 区内で行われるドラマ・CM等の撮影を支援し、マスメディアを活用した観光情報の発信を行う。 2 観光案内冊子の作成 多言語に対応した冊子を作成する。 3 観光プロモーションの実施					
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定	
	平成22年度 ロケ支援の試行の実施 平成23年度 フィルムコミッション事業運営開始 令和3年度 公共施設でのロケ支援に加えて民間施設でのロケ支援を開始 令和5年度 「すみだの歩き方」発刊 令和6年度 「すみだ観光マップ」発刊 デザインマンホール一箇所設置（オリジナルTVアニメーション「リコリス・リコイル」）					
議会質問 の 状 況	令和3年11月 決算特別委員会 フィルムコミッション事業における墨田区の魅力の発信状況について 令和4年 3月 予算特別委員会 フィルムコミッション事業の利用件数について 令和4年11月 決算特別委員会 フィルムコミッション事業の状況把握とPRについて 令和5年2月 予算特別委員会 フィルムコミッション事業の取り組み状況・PRについて 令和5年11月 決算特別委員会 フィルムコミッション事業の効果、申請期限等について 令和6年3月 予算特別委員会 フィルムコミッション事業について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		14,716	9,214	8,237	17,399	22,420	19,984
A. 決算額（令和7年度は見込み）		12,506	9,214	8,237	17,330	22,361	19,984
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		12,506	9,214	8,237	17,330	22,361	19,984
執行率（％）		84.98％	100％	100％	99.6％	99.74％	100％
B. 人コスト		7,058	7,037	6,543	10,214	9,154	
総事業費（A+B）		19,564	16,251	14,780	27,544	31,515	
予算書P（令和7年度）		P200 2（3）		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	17,110	委託料	20,711	委託料	19,736
需用費	220	需用費	715	需用費	248
		負担金補助及び交付金	550		
		工事請負費	385		
概 要		概 要		概 要	
・委託料 フィルムコミッション等	17,110	・委託料 フィルムコミッション等	20,711	・委託料 フィルムコミッション等	19,736
・需用費 マンホールカードの増刷	220	・需用費 マンホールカード制作、増刷	715	・需用費 マンホールカードの増刷	248
		・負担金 デザイン許諾金	550 等		

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	フィルムコミッション撮影支援件数（作品数）				単 位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		75	令和7年度	目標	35	35	40	40
				実績	65	32	39	39
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40	45	45	75	75	75
		実績	35	45	74	62	69	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		撮影支援を行った件数を情報発信の件数とする。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	墨田区観光協会HPのページビュー数				単 位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		1,000,000	令和7年度	目標	700,000	750,000	750,000	800,000
				実績	658,381	731,842	681,842	646,367
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	800,000	850,000	850,000	900,000	900,000	1,000,000
		実績	446,210	513,736	470,000	575,638	661,240	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		PRの効果として墨田区に興味を持った人（墨田区観光協会HPを見た人）を指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	引き続き、様々な媒体を活用し、情報発信を強化していく。

課題・問題点
フィルムコミッション事業においては、ドラマ、アニメ、映画等支援作品について撮影後の連携・活用を図り、墨田区のPR・観光振興に繋げる必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	121 すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる					
事 業 名	外国人観光客受入整備事業					
主管課	観光課	電話番号（内線）	5493			
目 的	外国人観光客が安心して快適に区内を回遊し、すみだの魅力に触れられるように、情報発信及びプロモーションを行う。					
対 象 者	外国人観光客、在住外国人					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1人・一般社団法人墨田区観光協会 等	
事業内容	1 外国人向け情報発信及びプロモーション （1）在住外国人ネットワーク化推進事業の実施 （2）Oishii Sumidaウェブサイト運営委託 2 海外へのプロモーション （1）JNTOをととした海外発送、海外配布事業					
経 過	開始年度	平成26年度			終了予定	
	平成26年度	区内観光案内所へのフリーWi-Fi設置 多言語観光案内冊子の制作委託 外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出開始（～平成29年度まで）				
	平成29年度	多言語観光案内冊子の制作委託（～令和元年度まで）				
	令和元年度	外国人向けツアー実施運営委託				
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により誘客イベント（ゆかたdeガイドツアー） 及び冊子制作・掲載委託事業を中止				
令和4年度	在住外国人ネットワーク化推進事業開始（墨田区公式外国人アンバサダー事業） Oishii Sumida事業運営開始（産業振興課から移管）					
議会質問 の 状 況	令和5年2月	予算特別委員会	外国人アンバサダー雇用条件、旅行サイトへの投稿について			
	令和5年9月	第3回定例会	観光消費額等調査・外国人観光客等の実態及び観光ニーズ等調査について			
	令和5年11月	決算特別委員会	インバウンド施策評価について			
	令和6年2月	第1回定例会	「Oishii Sumida」事業について、インバウンド向けの観光施策について			
	令和6年10月	決算特別委員会	地域行事への外国人観光客の参加について			
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		5,850	300	5,439	5,436	9,461	20,282
A. 決算額（令和7年度は見込み）		300	300	5,299	5,436	9,461	20,282
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		300	300	5,299	5,436	9,461	20,282
執行率（％）		5.13％	100％	97.43％	100％	100％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	5,107	5,492	
総事業費（A+B）		2,947	2,939	7,753	10,543	14,953	
予算書P（令和7年度）		P200 2(5)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	5,136	委託料	9,161	委託料	19,982
負担金補助及び交付金	300	負担金補助及び交付金	300	負担金補助及び交付金	300
概 要		概 要		概 要	
・ 委託料 在住外国人ネットワーク化推進事業等 5,136		・ 委託料 在住外国人ネットワーク化推進事業等 9,161		・ 委託料 在住外国人ネットワーク化推進事業等 19,982	
・ 負担金補助及び交付金 JNTO賛助会費 300		・ 負担金補助及び交付金 JNTO賛助会費 300		・ 負担金補助及び交付金 JNTO賛助会費 300	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	墨田区公式外国人アンバサダー任命数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		12	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	10	11	12	12
		実績	—	—	10	11	13	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		効果的な情報発信を行うため、一定数のアンバサダーを確保していく。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	外国人アンバサダーによる投稿へのインプレッション数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		500,000	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	470,000	480,000	490,000	500,000
		実績	—	—	459,546	375,538	22,369,641	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		情報発信の効果として、インプレッション数を指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	引き続き効果的な情報発信・プロモーションを行っていくことで、外国人観光客の誘客につなげていく。

課題・問題点
情報発信・プロモーションにおいてはインプレッション数などにより発信力の効果測定が可能であるが、発信の結果、外国人観光客の誘客につながっているかどうかの検証が難しい。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	121 すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる					
事 業 名	広域連携事業費					
主管課	観光課	電話番号（内線）	5494			
目 的	他地域と連携し、効果的にプロモーション活動等を実施することで、本区を区内外へアピールし、観光客の誘致及び回遊性の向上を図る。					
対 象 者	観光客					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1名、一般社団法人墨田区観光協会等	
事業内容	1 EAST TOKYO協議会 台東区、江東区、東武タワースカイツリー株式会社と連携し、東京下町エリアとして、プロモーション活動を実施。 2 その他自治体との連携 （1）忠臣蔵サミットへの参加 （2）青森県弘前市との連携事業（北斎祭り）					
経 過	開始年度	平成30年度			終了予定	
	平成29年10月	「東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定」を締結				
	平成3年	連携事業を開始				
	令和元年	他自治体との連携事業に係る予算を本事業に移管				
	令和3年3月	「東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定」の協定期間を令和4年3月31日まで期間延長				
	令和4年3月	「東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定」終了				
議会質問 の 状 況	令和5年9月 第3回定例会 観光資源及び近隣地域との連携について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		4,215	1,361	1,184	6,103	2,861	2,298
A. 決算額（令和7年度は見込み）		847	1,106	984	5,903	2,092	2,298
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		847	1,106	984	5,903	2,092	2,298
執行率（％）		20.09％	81.26％	83.11％	96.72％	73.12％	100％
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	6,810	7,323	
総事業費（A+B）		4,376	4,624	4,256	12,713	9,415	
予算書P（令和7年度）		P200 2(2)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	4,748	負担金補助及び交付金	955	負担金補助及び交付金	965
負担金補助及び交付金	955	委託料	775	旅費	733
旅費	200	旅費	253	委託料	600
		需用費	110		
概 要		概 要		概 要	
・旅費 出張旅費	200	・旅費 出張旅費	253	・旅費 出張旅費	733
・委託料		・需用費 消耗品費	110	・委託料 ノベルティ製作	600
イベント（勝海舟・池波正太郎）		・委託料 ノベルティ製作	476	・負担金及び交付金	
	4,787	警備業務等	300	会費、負担金等	965
・負担金及び交付金		・負担金及び交付金			
PR費用分担金	955	会費、負担金等	955		

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	連携事業の取組数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		10	令和7年度	目標	—	—	3	3
				実績	—	—	6	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	4	3	4	6	7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		広域で連携し複数事業を実施することで、さらなる観光誘客や回遊性を高めるため。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区内を訪れる観光(観光関連施設及びイベント入込)客数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		10,000,000	令和7年度	目標	9,100,000	9,300,000	9,500,000	9,650,000
				実績	9,175,663	8,142,160	8,211,870	7,468,410
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9,800,000	9,800,000	9,900,000	9,900,000	9,900,000	10,000,000
		実績	2,458,695	2,023,411	4,029,851	7,199,223	7,442,153	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		広域連携を通じて観光客の増加を目指すため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	連携自治体の観光資源を活かした、広域ならではの効果的プロモーションを実施し、誘客・回遊に取り組んでいく。

課題・問題点
更なる誘客・回遊に繋げるための効果的なプロモーション方法・ターゲットを検討する必要がある。 自治体毎に観光の状況や方向性が異なることから相互にとってメリットとなるような事業内容とする必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	121 すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる				
事 業 名	M I C E推進事業費				
主管課	観光課	電話番号（内線）	5482		
目 的	両国国技館や多くの博物館・宿泊施設、船着場を有する等、国内唯一の魅力を持つ両国地域や墨田区のMICE関連施設をPRし、MICEを誘致・開催することにより、観光促進、墨田のブランド力向上など大きな経済波及効果を生み出す。				
対 象 者	MICE開催関連事業者				
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想				
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1人・株式会社JTB
事業内容	両国国技館や多くの博物館・宿泊施設、船着場など、多くの魅力を持つ墨田区において、ユニークベニュー等を活用したMICEを誘致・開催することにより、観光促進、墨田区のPRを行い経済波及効果を生み出す。				
経 過	開始年度	令和2年度		終了予定	
	■プロモーション映像作成 令和3年度：映像作成 ■MICE誘致検討 令和5年4月・5月 事業者意見交換実施 令和6年2月 東京観光財団主催「ユニークベニューショーケース」を国技館・すみだ水族館で開催 ■デジタルパンフレット（日本語・英語）の制作 令和6年度：制作 区ホームページにて公開				
議会質問 の 状 況	令和4年11月 決算特別委員会 MICEプロモーション動画の活用について 令和5年11月 決算特別委員会 MICE事業について 令和6年2月 予算特別委員会 MICE事業について				
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	2,860	0	0	4,594	3,833
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	2,860	0	0	4,594	3,833
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	2,045	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	2,860	0	0	2,549	3,833
執行率（％）		－％	100％	－％	－％	100％	100％
B. 人コスト		0	0	0	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		0	2,860	0	2,554	7,340	
予算書P（令和7年度）		P200 2（8）		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
		委託料	4,500	負担金補助及び交付金	1,450
		旅費	93	需用費	1,050
				役務費	530
				旅費	453
				使用料及び賃借料	350
概 要		概 要		概 要	
		・ 旅費 八王子市との打ち合わせ 5 「Japan MICE EXPO 2024」の視察 88 ・ 委託料 デジタルパンフレットの制作 4,500		・ 負担金補助及び交付金 Japan MICE EXPO 出展料等 390 ・ 需用費 MICE誘致パンフレットの印刷 1,050 等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	支援件数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		12	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	6	12
		実績	—	—	—	—	4	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業者からの相談や調整に対応しMICE推進を図る。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	MICE商談会・展示会参加数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	1	3
		実績	—	—	—	—	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		MICE商談会・展示会に参加することによりMICE誘致を図る。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	製作した動画及び令和6年度に作成したデジタルパンフレットを各所で活用し、プロモーションを展開していく。

課題・問題点
MICE誘致について、仕組み・体制・課題を調査し、行政としての運営方法・関わり方を検討する必要がある。 また、本区におけるMICEの開催状況を把握し施策を検討していく必要がある。